

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	02	01	13	124520	花と緑の創出事業(取りまとめ)	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	5	花のあるきれいなまちづくり			
目的	花いっぱい運動の推進					
対象	市民、事業者					
意図	1年を通して花と緑にふれあう場をつくる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 花いっぱい運動の展開 <input type="checkbox"/> 花と緑のまつり2017の開催 <input type="checkbox"/> 花と緑の会への活動支援 <input type="checkbox"/> 全日本菊花連盟全国大会花巻大会開催への支援 <input type="checkbox"/> 公共緑化業務等						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	花苗の供給数	千本	計画	350	350	/
			実績	258	255	
②			計画			/
			実績			
③			計画			/
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	花壇実践登録件数 (花苗供給を受けた団体・個人)	件	目標	350	350	350
			実績	351	346	/
②			目標			/
			実績			
③			目標			/
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="checkbox"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
花壇の実践団体数を団体、個人合わせて350団体を設定しているが、平成29年度は高齢化、体調不良や他団体との共同事業化、公共の場所以外での活動に転換などの理由により、351団体から346団体に減少した。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない 市総合計画でも花のあるきれいなまちづくりを施策の1つとして位置づけており、市の関与は妥当。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 花壇実践者や関連団体会員の高齢化が進んでいるので、PR等を行いながら花壇実践者となりうる団体の開拓を進め、担い手の育成を支援する必要がある。実践者花壇の紹介や活動状況のPRを工夫することにより向上を図る。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない 事業費については、花苗供給方法の見直しを図っており、これ以上の削減余地はない。また、職員は当該事業を実施するための最低限の人員で事務を行っていることから、人件費の削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である 事業は、全市民、市内全域を対象としていることから、公平・公正である。まつりについても、対象を特定しておらず、公益性にも配慮した内容で公平・公正である。
総合評価 …上記評価結果の総括	
市民が身近に花と緑を感じることができる、花のあるきれいなまちづくりのために、花いっぱい運動の普及・促進を市内全域に浸透するよう花苗配布を継続し市内花壇の充実を推進した。一方で花壇実績者は減少したことから、花のあるまちづくりのための活動をしていただけた実践花壇登録者を開拓していく必要がある。	

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 建設部 課名 公園緑地課 担当係長 幅下 崇則 内線 258

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	13	124520	花と緑の創出事業(取りまとめ)

(単位：千円)

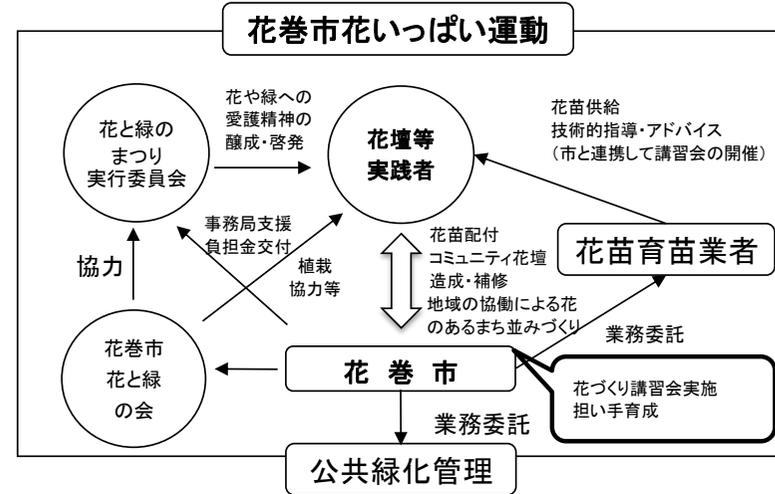
単位：千円					
		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		12,300	14,267		1,967
財源内訳	国・県	7,600	7,600		
	地方債				
	その他	4,554	6,000		1,446
	一般財源	146	667		521

※特定財源の内訳

県支出金(電源立地)
まちづくり基金繰入金

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標			
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています。			
事業開始の背景・経緯			
昭和45年の岩手国体の開催にあたり、沿道に花壇を整備し、全国から訪れた選手団や関係者を花で迎えたことを契機に始まった。その後、昭和47年から市の名前にふさわしい花いっぱいのもちづくりを推進している。			
事業概要			
○花いっぱい運動の展開			
○花と緑のまつり2017の開催			
○花と緑の会への活動支援			
○全日本菊花連盟全国大会花巻大会開催への支援			
○公共緑化業務等			
意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)			
・「花いっぱい運動」を推進する各種団体、個人等から花苗配布事業の継続を要望されている。			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【事業費内訳】

- 花と緑のまつり実行委員会負担金 4,000千円
6月9日～11日 実行委員会負担、事務局支援
- 花巻市花と緑の会運営補助金 73千円
花と緑の会の花いっぱい運動の推進活動を補助支援
- 第53回全日本菊花連盟全国大会花巻大会開催補助金 1,000千円
平成29年11月 花巻市での開催にかかる補助支援
- 花苗配布委託 5,109千円
市内の花壇実践者への花苗の申込受付、供給
- 花づくり講習会
播種、花植等についての講習会を実施し、苗を育てる方法を伝播し担い手を育成(県職員を講師として招聘したため、報償費等の支出はなし)
- 美化推進関連業務委託料 3,461千円
・公共緑化管理業務(胡四王山ボタン園、豊沢川桜並木、奥州街道名残の松冬期管理、桜町ロータリー芝地管理、花壇表示看板作成、東和地内環境整備)
- その他美化推進関連事業事務費等 624千円
(花苗配布事業PRチラシ印刷等)

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名	
一般	04	01	04	144240	環境衛生活動推進事業【とりまとめシート】	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	5	花のあるきれいなまちづくり			
目的	環境美化活動の推進					
対象	市民					
意図	市民の清掃活動に対する意識が高揚し、清潔な生活環境を維持する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 一斉清掃の実施 <input type="checkbox"/> 衛生害虫駆除 <input type="checkbox"/> 各種団体への補助 <input type="checkbox"/> 環境審議会の開催						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	一斉清掃の実施	回	計画	3	3	3
			実績	3	3	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	一斉清掃の参加率	%	目標	56.0	56.0	
			実績	55.7	54.4	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
広報等による啓発活動のほか、公衆衛生組合連合会と協力し、一斉清掃への参加について呼びかけを行った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	清掃活動等の実施及び支援を通じ、生活環境の保全や公衆衛生環境の向上が図られるため妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="radio"/> 見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	清掃に係る幅広い啓発活動の実施により、参加率を向上させる余地がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="radio"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	環境美化及び衛生活動に必要な補助等の事業を行うものであり、削減の余地はない。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	事業実施にあたり、市民のボランティア活動に支えられている面が大きいことから適正である。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
・清掃活動により生活環境の保全や公衆衛生の向上が図られることから、今後も一斉清掃等の活動を継続的に行う必要がある。 ・害虫駆除及び予防のために市民の協力が必要なことから、駆除機器等の貸し出し等により防除活動を引き続き支援する必要がある。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 市民生活部 課名 生活環境課 担当係長 藤原 拓也 内線 266
 (単位：千円)

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	04	144240	環境衛生活動推進事業【とりまとめシート】

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,434	3,168		734
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,434	3,168		734

※特定財源の内訳

--

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標
 豊かな自然と生活環境を守り暮らしています。

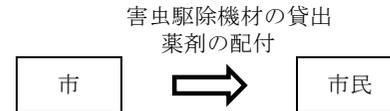
事業開始の背景・経緯
 清潔な生活環境を維持するために本事業を開始した。近年は、衛生害虫駆除に力を入れている。

事業概要
 ○一斉清掃の実施
 ○衛生害虫駆除
 ○各種団体への補助
 ○環境審議会の開催

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

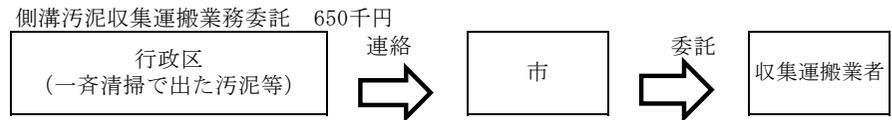
1 衛生害虫駆除 297千円 (H28 : 313千円)



薬剤・噴霧器修繕等 297千円

2 一斉清掃 1,555千円 (H28 : 1,196千円)

4・6・9月の3回にわたり市民総参加の一斉清掃を実施。



一斉清掃用ゴミ袋、土のう袋など 905千円

3 環境審議会委員報酬等 38千円 (H28 : 50千円)

審議会報酬 36千円 事務費 2千円

4 岩手県食品衛生協会花巻支会補助金 150千円 (H28 150千円)

5 公衆衛生組合連合会補助金 725千円 (H28 725千円)

6 花巻市公衆浴場施設設備改善事業補助金 403千円 (H28 0円)

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	02	01	144350	生活環境保全活動推進事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	5	花のあるきれいなまちづくり			
目的	環境美化活動の推進					
対象	地域環境					
意図	清掃活動を通じ、地域環境の美化が図られる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○豊沢川活性化・清流化事業推進協議会への補助。 ○河川清掃委託						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	河川清掃のごみ回収	t	計画	1.6	1.6	/
			実績	2.7	2.0	
②			計画			/
			実績			
③			計画			/
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①			目標			/
			実績			
②			目標			/
			実績			
③			目標			/
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	環境美化に貢献するものであり、廃棄物処理に関することも含まれるため妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	看板設置や市民への啓発を通じ、河川への不法投棄を減少させる余地がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	委託相手が地域団体であり、民間業者より委託単価を低く設定していることから削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	事業の実施を通じ、地域内の生活環境の向上につながることから適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
・河川清掃により地域環境の美化が保たれていることから、本事業を継続する必要がある。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 市民生活部 課名 生活環境課 担当係長 藤原 拓也 内線 266

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	02	01	144350	生活環境保全活動推進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		891	891		
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	891	891		

※特定財源の内訳

--

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------

部重点施策における目標
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています。

事業開始の背景・経緯
市街地付近の河川のごみの投棄が多く景観も損ねることから、公共用水域の美化を図るため本事業を実施している。

事業概要
○豊沢川活性化・清流化事業推進協議会への補助。
○河川清掃委託

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）
河川清掃実施団体から公共用水域の環境保全のため清掃事業を継続してもらいたいとの意見が寄せられている。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1. 河川清掃業務 641千円 (平成28年 641千円)
河川の清掃を自治会等へ委託し河川の美化を図る
[対象河川と委託先]

河川名	委託先	延長	面積	備考
①新川	小舟渡自治会	910m	2,275㎡	3面改修
②旧瀬川	旧瀬川美化協議会	650m	2,600㎡	3面改修
③籠堰川	籠堰川美化推進協議会	1,100m	2,200㎡	3面改修
④藤沢川	藤沢町振興会	262.5m	1,050㎡	未整備
⑤後川(愛宕町)	愛宕町衛生部	200m	1,000㎡	3面改修
⑥後川(坂本町)	坂本町自治会	200m	1,200㎡	3面改修

[委託単価]

委託面積 1㎡あたり
未整備河川 20円
3面改修河川 16円

2. 豊沢川活性化・清流化事業推進協議会補助金 250千円
(事務局：商工会議所)
豊沢川の清掃活動(年1回、8月上旬)、啓発イベントの実施
水質汚染防止勉強会の実施

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名	
一般	08	04	04	184260	公園整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	5	花のあるきれいなまちづくり			
目的	公園施設の整備					
対象	公園利用者					
意図	公園を安全、快適に利用することができる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○公園施設の整備 ・園路、広場、植栽、遊具、便所等の公園施設の整備を行う。						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	公園施設整備	箇所	計画	3	7	/
			実績	3	5	
②			計画			/
			実績			
③			計画			/
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	公園事故及びトラブル	件	目標	0	0	/
			実績	0	0	
②			目標			/
			実績			
③			目標			/
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
公園施設の定期点検による危険箇所把握に基づいた計画的な施設補修の実施や、住民及び施設管理委託業者からの情報への早期対応により、できるだけ施設補修のニーズに合った公園施設の確保や危険を伴う公園施設の改善を行うことに努めたため、事故やトラブルが減少したと考えられる。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない 公園施設は公共関与が必要な事務であることから、市が取り組む必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない 公園施設を整備することにより、安全性が確保され利用者が期待する公園環境が創出される。事業を継続的かつ計画的に実施していくことにより、利用者の満足度が向上する。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない 事業を実施するうえで、もっとも効果的で必要最小限の施設整備に努めていることから、事業費・人件費の削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である 公園は一般に開放されているため、受益者は公平である。
総合評価 …上記評価結果の総括	
公園施設の日常管理結果や利用者・地域の要望を参考に、要求される内容の施設整備に努めている。 災害時の避難所として位置付けられる公園もあることから、それに対応する施設整備も進めたい。 今後も社会や利用者のニーズに的確に応えた安全、安心、快適な公園とするため、良好な公園施設を提供していく必要がある。	

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 建設部 課名 公園緑地課 担当係長 菊池 洋和 内線 9-10-567

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	04	04	184260	公園整備事業

単位：千円

	28年度決算額(A)	29年度決算額(B)	30年度現計予算額	決算額前年比(B-A)
事業費	26,962	15,244		△ 11,718
財源内訳	国・県			
	地方債	20,100		△ 20,100
	その他		3,000	3,000
	一般財源	6,862	12,244	5,382

※特定財源の内訳
まちづくり基金繰入金

事業期間 ○ 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

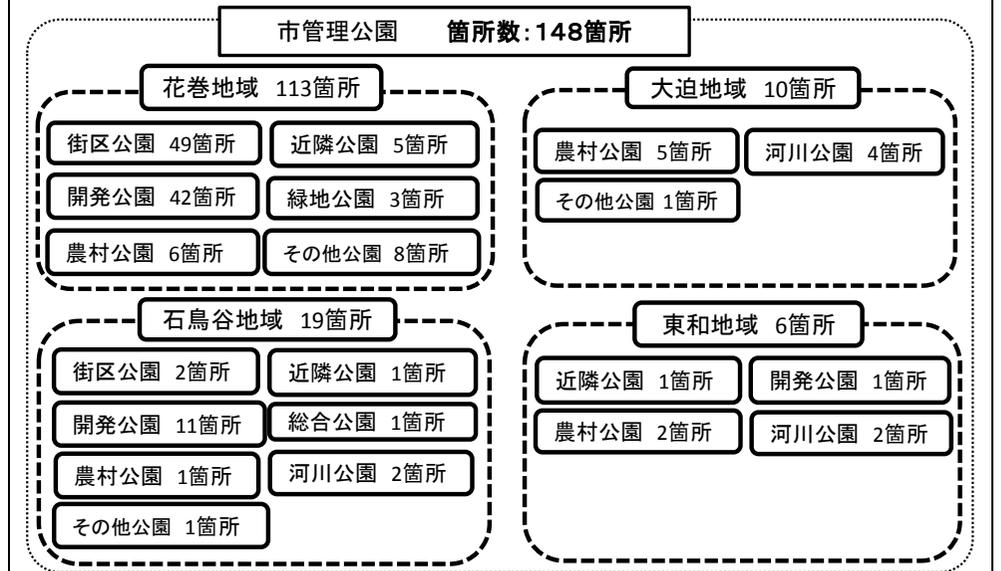
部重点施策における目標
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています。

事業開始の背景・経緯
昭和35年に材木町公園が供用開始され、その後整備に伴い随時供用開始を行い現在147箇所の維持管理を行っている。

事業概要
○公園施設の整備
・園路、広場、植栽、遊具、便所等の公園施設の整備を行う。

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）
利用者がどのような施設を望んでいるかを把握し、施設整備にかかるコストを低減できるような工夫や技術を採用する。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



○ 市が管理する公園施設を整備する

○事業内容

事業名	事業費	委託費	工事費
公園トイレ塗装事業（若葉公園他1件）	1,056,240	1,056,240	
鳥谷ヶ崎公園池防護柵改修事業	8,971,560		8,971,560
鳥谷ヶ崎公園西御門他ライトアップ整備事業	2,808,000	2,808,000	
星が丘3号公園法面改修事業	2,408,400	2,408,400	
合計	15,244,200	6,272,640	8,971,560